

ペディキュアを塗って完成夏の脚 日根野聖子

色はいろいろでしょうが、赤が素足に映えて、夏らしい祇園祭の阪急電車の中で浴衣に白い足の下駄履きの赤いペディキュアがうれしそう。日本人の美意識が誇らしい。

礼も言はぬ俵に送る今年米 飯塚ひろし

今頃米が着いて助かったと言ってるだろうな。便りがないのが元気な証拠。親は送る幸を味わっている。若い内は礼儀知らずだが、少しずつ積み重なって義理人情礼儀が身につき、一人前になる。親の無償の愛が見えてくる句。滑稽句の中にこうした子への思いが隠れている句を見てほっとした。